

【学会参加 2025.11.30～12.1

第25回認知神経リハビリテーション学会学術集会 In 大阪】

名前：菅原紘子、宍戸加奈美、高橋鈴音

【感想】

11月30日～12月1日に大阪市中央公会堂で開催された認知神経リハビリテーション学会学術集会に、当院より3名で参加してきました。

・今回は見えないものを観るというテーマの学会でした。定量的な評価だけでは見えない部分をどう見ていくかという内容のセッションが多くあり、どのように患者さんの意識経験を理解していくか、という視点を深めることができました。またポスター発表でもフリーディスカッションの中でたくさんの評価の方法や訓練の設定についてアドバイスをもらい、大変勉強になりました。今後に活かしていきたいと思います。（菅原）

・シンポジウム《言語機能の回復可能性と治療ストラテジー》にて「冗談が言えるということ」というテーマで話題提供させていただきました。自分が担当している失語症例を通じて、皆様とディスカッションできることは大変学びになると同時に、次の臨床への活力となりました。

（宍戸）

・認知神経リハビリテーションは私の中では、かなり難しい内容が多いです。しかしその反面、毎回新たな気づきや挑戦に繋げてくれるため、毎回良い刺激となっています。今回の学会でも自分では考えつかなかつたような訓練方法や患者さんへの問い合わせ・言葉のかけ方等、大変参考になる発表が数多くありました。今回の学会参加の経験を活かして、さらに成長していきたいと思います。（高橋）

